



東京大学公共政策大学院
2010年度 冬学期

交渉と合意

第10回 2010年12月13日

「ハーボコ」のふりかえり

6者間合意の可能性

産業	生態系	雇用	補助金	補償	ハーボコ	環境	労組	他港	DCR	知事
1	3	2	2	3	68	55	76	46	68	66
1	3	2	2	4	73	55	78	31	65	69
1	3	3	2	3	73	55	66	44	70	60
1	3	3	3	4	69	55	58	34	81	56
2	3	2	2	4	67	77	83	35	76	63
2	3	3	1	3	73	77	81	40	65	64
2	3	3	2	3	67	77	71	48	81	54
2	3	3	2	4	72	77	73	33	78	57
2	3	4	1	3	80	77	56	34	70	52
3	2	2	2	4	66	70	63	41	65	63
3	2	3	2	3	66	70	51	54	70	54
3	2	3	2	4	71	70	53	39	67	57

最高得点に対する割合

産業	生態系	雇用	補助金	補償	ハーボコ	環境	労組	他港	DCR	知事
最低必要点→					55	50	50	31	65	30
可能最高点→					80	100	90	64	100	77
2	3	3	2	3	67	77	71	48	81	54
					84%	77%	79%	75%	81%	70%
2	3	2	2	4	67	77	83	35	76	63
					84%	77%	92%	55%	76%	82%
2	3	3	1	3	73	77	81	40	65	64
					91%	77%	90%	63%	65%	83%
2	3	4	2	3	64	77	46	42	86	42
					80%	77%	51%	66%	86%	55%
1	3	2	2	3	68	55	76	46	68	66
					85%	55%	84%	72%	68%	86%

ハーボコのふりかえり

- 原則立脚型交渉
 - 「もし・・・だったら」
 - 協働問題解決 vs. 対立的アプローチ
 - BATNA(自分・相手)を認識できたか
 - 利害関心を確認、相互調整できたか
- コミュニケーション等
 - コーカス(2者間交渉)、代理人戦略を使ったか
 - コンセンサスを目指すことが暗黙の了解だったか

- 合意形成プロセス
 - 会場の雰囲気(暑い!)
 - 座席配置
 - 白板、付箋紙、模造紙などを使ったか
 - ハーボコが果たした役割は何かだったか
 - 時間管理ができたか
- 合従連衡 (coalition game)
 - 誰から仲間に取り込むべきだったか
 - 個別交渉をどう使ったか